

## 第4回亀山市学校給食検討委員会議事録

日時・場所	平成27年1月30日（金） 午後2時00分～午後4時00分 亀山市役所 第2・3委員会室
出席委員	仲律子委員長、大川吉崇副委員長、遠藤博美委員、野呂幸生委員、伊藤登美子委員、 玉村仁子委員、上田真梨子委員、東裕美委員、北崎亜紀委員、太田淳子委員、 櫻井恵美子委員、吉崎直子委員、藤尾春樹委員、原田和伸委員
事務局	佐久間利夫教育次長、服部裕学校教育室長、 学校教育室 原千里、小林真理子
事 項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 あいさつ</li> <li>2 委員の任命について</li> <li>3 第1次意見書に関する報告について</li> <li>4 視察の報告について             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 市内学校給食視察について</li> <li>(2) 志摩市学校給食センターの視察について</li> </ol> </li> <li>5 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 中学校給食について</li> </ol> </li> <li>6 その他</li> </ol>

### 議 事 内 容

#### 【教育次長】

皆様におかれましては、何かとお忙しいところ学校給食検討委員会にご出席いただきましてありがとうございます。前回の会議から少し間が開きましたが、その間皆様から頂戴しました意見書をもとにその実現に向けていろいろな取り組みをやって参りました。また、一部の委員の皆様には学校の給食の現状を見ていただき、試食もしていただきどのようなものかという実態がわかっていただけたことかと思えます。それにつきましても、本日会議の中でご紹介させていただきたいと思えます。

本日から中学校給食について本格的にご議論いただきますのでどうぞよろしくお願ひします。

それでは、まず平成26年11月1日付けにて、市職員小林恵太氏から藤尾春樹氏へ委員の交代がありましたので、藤尾春樹氏を亀山市学校給食検討委員会委員として任命したことをご報告申し上げます。

それでは藤尾委員自己紹介をお願いします。

【藤尾委員】 みなさんこんにちは。市の職員組合で11月から執行委員長をさせていただいております藤尾と申します。所属は都市計画室で、元々土木技師なので給食からは遠いところにおりますが、今後ともよろしくをお願いします。

【教育次長】 ありがとうございます。本日、川戸委員、辻村委員、富田委員、大澤委員、青木委員より所用のため欠席の連絡を受けていますので報告します。

それでは、仲委員長、会議の進行をお願いします。

【委員長】 みなさんこんにちは。ただいまより、第4回亀山市学校給食検討委員会を開催します。

はじめに、亀山市審議会等の会議の傍聴に関する規程により傍聴の許可についてお諮りします。現在2名の傍聴を希望される方がみえます。本日の会議において傍聴の許可をしたいと思いますが、これに異議ございませんか。

【委員】 異議なし。

【委員長】 それでは異議なしとみなし、許可したいと思います。なお、途中で傍聴を希望する方がみえましたら、再度皆様にお諮りしたいと思います。それではお願いいたします。

※傍聴者2名入室

【委員長】 まず、第3回亀山市学校給食検討委員会議事録につきましては、どの委員からも修正の連絡がなかったということで、すでに教育委員会ホームページで公開しておりますので、ご了承ください。

【委員長】 続いて、前回の会議において集約しました「亀山市における小学校及び中学校の給食に関する第一次意見書」を昨年10月31日に教育委員会へ提出いたしました。その意見書に対する対応策について、事務局より報告願います。

【事務局】 【資料1】について、説明

【委員長】 ただいまの説明について、何か質問などはございませんか。

【副委員長】 上手にまとめていただいたと思います。ありがとうございます。私はみなさんがあれだけ議論を重ねて出されたことが集約できたことは評価できることだと思います。特に私は管理栄養士を一人なんとしても増やしなさいと、市単費でやるべきだという意見を出しましたが、やはりここがないと他のことがいくらよかっても全部だめになっていくと私は感じます。市の担当の方の役割は、議会の方にも発信しつつ、財政にプッシュするという体制がないと、絵に描いたもちで消えていくということになる。するとここで議論したことは何だったんだということになってしまうと思うんですね。やはりどこの市でも過去の議論においては聞き置いて消えていくというのがありますが、ここへみなさん来ていただいているということは貴重な時間を使っているんですから、やはり反映させていくというのが委員会の皆さんの役割でありますのでお願いしたいと思います。

【委員長】 他にご意見ご質問はありますか

【太田委員】 4ページの今後の対応についてですが、保護者に給食費改定についての文書はいつ頃配付されたのでしょうか。デリバリーは先払いなので給食費の引き落としの単価が変わったことに対することについても書かれているのでしょうか。

【事務局】 1月26日付で、それぞれ給食の実施内容に応じた保護者宛文書を既に配付しております。デリバリー給食の払込用紙に関係することについては、2月に新年度用の払込用紙が発行される際に、5,000円の払込用紙については変更なく、250円ずつの引き落としが270円になるという説明文書を添えて配付させていただきます。

【委員長】 他にご質問はないでしょうか。それでは、続いて、昨年12月8日に11名の委員の皆様により市内視察をしていただきましたが、その際の感想として【資料2】にまとめましたので、委員の皆様にはご一読いただけたらと思います。

もし、この場で申し添えたいことなどありましたら、ご感想をいただけたらと思います。それでは、遠藤委員から順にお願いします。

【遠藤委員】

今回視察に行つて初めてデリバリー給食を試食させていただきました。ここにも書かせていただきましたが、いろいろな評判などであまりおいしくないということをしごく聞いていたので恐る恐るいただきましたところ、温かいものは温かく、冷たいものは冷たくという配慮のもと、思っていたよりおいしくいただくことができました。もちろん味つけの濃い薄いについては個人の考え方が違いますので、私にとっては濃い部分もありましたけど、持っていたイメージは払拭され、おいしくいただくことができました。ただ、生徒が食べている様子を見ると、クラスによって違う気がしましたが、半数以上デリバリーを食べているクラスもありましたし、ばらつきがあったように思います。工夫はされていると思うので、今後どのようにしていくのが一番よいのかについてぜひ一緒に考えさせていただければと思います。

【野呂委員】

感想としてはこちらに書いてあるとおりです。

【伊藤委員】

視察の件につきましては、園の行事がありましたので参加できずに残念でしたけれども、ここに書かれているとおり、2番の関学校給食センターでの内容とアスレの給食室は同じようなことをやっておりますので、野菜を3回洗うことにしごく感謝という感想を書かせていただきました。給食調理員の方の調理作業にしごく励みになる言葉だなと思いました。

【玉村委員】

私も園の行事がありましたので参加できなかったのですが、今二人の感想も聞かせていただいて、やはり現場の現状を知ることは大切なんだなと思いました。

【上田委員】

私もこちらに書かせていただいたとおりですが、先ほど遠藤校長先生がおっしゃられたように、それぞれの施設で工夫されているところもたくさんありましたし、温かい物は温かく、冷たい物は冷たくと子どもたちに提供するのに工夫もされているなと感じました。お代わりのご飯も用意されていたので、中学校で食べ盛り子どもたちにはとてもいいなと思ったんですけども、みんながお替りしているわけではないので余ったご飯がもったいないなと残飯は気になりました。また、亀山東小にはないですが、亀山西小学校はランチルームがあって、調理員さんともより距離が近くて低学年との交流もしやすくてうらやましいなと感じました。関学校給食センターについては、配送の加

減で喫食するまでの時間が自校方式より長くなるので、温かさはどのくらい違うのかなというのが気になったところです。

**【東委員】**

私も視察に行かせていただいて、デリバリー方式の給食をいただきました。職場に戻ると、周りの職員からデリバリーはまずかったかどうかと質問攻めにあったんですけど、それが以外にすごくおいしかったという話をしました。たくさんの感想に書かれていたんですが、一度職員も食べてみておいしいということもわからないと、先生たちもデリバリーはおいしくないと感じているような雰囲気子どもたちに伝わると、次に中学生になる6年生は、デリバリーをぜんぜん期待していなくて給食にすごくすがりついているような感じがします。給食との別れを惜しんでくれるのはありがたいですが、デリバリーもそうじゃないよというのを、もっと知らせることができたらと思いました。同じ学校の先生たちにもデリバリーおいしかったよという話をしましたら、中学校と小学校の先生がお互いにそれぞれの給食を食べる機会があってもいいんじゃないかという意見もありました。

**【武居委員】**

今まで出た意見と一緒になんですけど、小学校の現場教員として、デリバリー給食のイメージは払拭されたというのが一番です。食べてみないとわからなかったというのが正直な感想です。弁当のよさ、自校方式のよさ、デリバリー方式のよさ、お互いのデメリットもあると思うんですが、教職員も保護者の方もそこを見据えた上で考えていかないと、自分の価値観だけでは決められないなと思いました。味つけについては実際に自校方式の給食も今日はこれだけかという日があるのも現実なんで、実際に毎日食べたときに味に違いがあるのかなとも思いました。あとは、給食についてもデリバリーについても、メニューによって残飯の差が出てくるのはやむを得ないのかなというのが子どもたちの現状でありますけど、本当に工夫もされていて、お金もかけていただき、人も関わっていただいて今のそれぞれの給食の方式があるんだなというのは改めて実感させてもらいました。ありがとうございました。

**【太田委員】**

先ほどから皆さんおっしゃっているように、私もデリバリー給食をすごくおいしくいただきました。小学校1年生の保護者は給食を食べる機会が学校であるんですけど、中学校もそのような機会があれば保護者の方たちも、デリバリーおいしいんやから弁当作らんでもいいから食べておいでという方もみえるかもしれませんし、そういう

機会があるとデリバリーの利用も考える方もあると思うので、できればいいですが中学校での試食を考えていただければと思います。

【櫻井委員】

私もデリバリー給食を食べたことがなかったのですが、太田さんと同じ意見です。うちの息子はアレルギーがあるのでデリバリーは利用していないんですが、そういう理由がない方はきっと食べてみたら意見が変わると思うので、ぜひ試食する機会を持っていただければ行っていただきたいなと思います。

【吉崎委員】

感想はこちらに書いてあるとおりで、私の場合は他の方とちょっと違って、亀山西小で味見当番といって五感を活用して味を伝えるという教育をされてきた子どもたちが、デリバリーを食べた時に初めてどう思ったのかなというのを知りたいなと思ってしまいました。

中学校で食べている生徒に確認したら「おいしい」と言っている子がいなかったような気がしました。聞いた子が3年生というのもあって、やはり慣れてきたこともあるのかなと。私の味覚には合わない味だったので、そういう意見もあるということをお伝えできればと思いました。

【副委員長】

みなさんご存知かと思いますがけれども、工場で弁当を作るときに温度を測って、そして何分以内に届けなさいというのがあるんですね。

そして届いたらまたそこで温度を測るというように、温度管理を厳しくしております。まずいとかおいしいとか味覚の感覚は、今は家庭の味が良すぎるので、給食に求める味としてどの程度が限度かについては、お弁当と給食とどの程度の差があるのか、デリバリー給食において扱う食材や調味料をチェックするなどしたら、まあまあの線は出てくるんじゃないかと思います。我々私学では、どんどん教育費をカットして給食費を上げていったんですけれども、やり方をデリバリー的な園内給食に変えました。それで味が落ちないようにするにはどうするのかというと、やはりそこにはお金のかけ方の問題がでてくるというそんな時代です。家庭で作る場合を考えて単価を試算してもらおうと、この値段でこれだけのものができるかどうかわかるんじゃないかと思いました。意見があったように自然のものを取り入れてというところすぐ単価が高くなってくるので、学校給食の中でそれが満足にできるかということ非常に難しいところがありますが、追いかけてもらうところだと思います。

【委員長】 先ほど調味料の話もでましたけれども、視察の意見で油がちょっと胸焼けするといったような印象を持たれている方がみえましたが、デリバリーはどんな油を使ってみえるんですか。

【事務局】 桑名市の米油を使っています。

【委員長】 米油は悪くないですので、調理方法の加減ですかね。

【副委員長】 スーパーの揚げ物は油の質もあんまりですが、単価を伸ばすために回数も使っているのであまりおいしくないと思います。私どもも油は少し長めに使いますと、劣化してくるので油の扱いは難しいですね。

【委員長】 それぞれみなさんご意見いただきましたので、次回以降検討委員会において中学校給食のあり方について引き続きご検討をお願いできればと思います。

続いて、先進地視察ということで、教育委員会事務局3名の職員が志摩市学校給食センターを訪れました。その報告を事務局お願いします。

【事務局】 (【資料3】にて報告)

【委員長】 続いて、昨年12月18日ですが、フジテレビ「とくダネ！」より、中学校のデリバリー給食について学校教育室が取材を受け、テレビ放送されました。保温カートの活用により温かい給食を提供しているということで紹介されましたので、委員の皆様にも見ていただこうと思います。事務局準備願います。

(映像 放送)

先ほどの「とくダネ！」の放送について何かご意見はありますか。

(意見なし)

それでは、続いて議事に入ります。中学校給食についてであります。第1回の会議でも話がでましたが、現状を子どもがどう考えているか、子どもの視点が一番大切ということで意識調査をしましょうかという話がでておりました。

そこで、事務局にアンケートの案を考えていただきましたので、【資料4】、【資料5】について説明願います。

【事務局】 【資料4】、【資料5】について説明

【委員長】 アンケートを年度内に実施するとなると、この会議で内容を決めていくという方向でご審議をお願いいたします。ただいま、このアンケートを作成するにあたり、事務局の思いを話していただきました。もちろん、委員の皆様も子どもの現状を知るにあたり、質問したいことや修正したいこと、また実施時期などご意見があるかと思えますので、本日はこのアンケートの内容について、協議したいと思えます。ご意見のある方はいらっしゃいますか。それでは順番に聞いていきます。北崎さんはデリバリー給食を試食していただきましたか。その感想もみなさん言っていたので、順番になったらその感想も加えてご意見をいただけますか。

【原田委員】 いろいろな内容を詳しく考えていただいているんですが、最後の設問が選択肢が3つまでと書いてあるので、3つ選ぶのかという誤解が生じないかということ、また設問6、7がデリバリー給食についての質問なのか、給食についての質問なのか分かりにくいところがあるかなという気がします。設問内容についてはもう少しじっくりみたいです。

【藤尾委員】 設問に対して分析をどのようにするのかなというのがこれだけみているのでは分からないんですけども、給食に対して生徒の率直な意見を聞くアンケートなので、今日もデリバリーに視察に行った結果でおいしいという話が多くありましたけれども、昼食に対して生徒が何を重要視しているのか、味なのか、量なのか、あたたかさなのか、そういった率直な意見を聞いて、給食を検討するにしても全てが全て満足できるものというのはなかなか難しいものがあると思うんですけども、その中でも何を重要視して検討していくのかということも質問として入れてもいいのかなというのが率直な感想です。

【委員長】 生徒が何を重視するのかというのは入れた方がよいということですね。最優先事項がどうなのかということは分かった方がよいということですね。それについて、事務局はどう思われますか。

【事務局】

まず、それぞれ基本設問項目を意識と実生活と比較できるように考えてみました。かつ、亀中や中部中の生徒と関中の生徒を比較できるようにしたいと考えています。そういった中で、藤尾委員が言われました生徒の率直な意見を聞くというのも必要だとは思いますが、学校給食は教育活動でありますので、生徒の言うがままに一番票が多いからというのはどうかという考えもあります。また、亀山市には食育推進計画がありまして、それらの計画にのっとった取組を進めようという流れもありますので、極端に栄養バランスの意識が低かったり、実際の行動が低かったりすると、アンケート結果が顕著なものについてはそれに対する対応策までも当委員会で見聞書として提案に結びつくのかなと考えてしまいます。

また、手作りがあまりにも低いと、じゃあ亀山市として給食だけでこの問題は解決できるのだろうかというような話にもなるかと思えます。そうするとこのまま手作りをあまり経験しないで、どんどん中学生が卒業していったいいのだろうか。様々なことを投げかけていただきながら、次回からの検討委員会の中で多角的にご意見を出していただいて、最終的に中学校の給食のあり方を提案するということになるのかと考えています。ですから、これら10問ずつ並んでいるのは食育推進計画とか現在進めている学校の食育の指導とか家庭科の学習とかそういったことをできるだけ含んだ内容とさせていただいております。かつ、比べられるように置かせていただいております。

【委員長】

率直な意見も大切ですが、食の意識を来年度の意見書のなかにどのように入れていくのかということも考えながらこの内容を考えられたということですね。

【吉崎委員】

先ほどの話を聞いて、このようなアンケートになったのかなというのとはなんとなく分かりましたが、これをデリバリーに対してのアンケートというよりは、昼食というか食事に関するアンケートととらえた方がいいのかなという内容なので、食生活も給食も大切なんですけど、内容がぼやっとしていると思います。具体的にどこがどう反映するかはやってみないと分からないなというのが今の私の感想です。

デリバリーについて聞きたいのか、食生活に関して聞きたいのか、この委員会ではデリバリーの今後のあり方について協議されていると思うんですけども、このアンケートだとそれが伝わりにくいか

なという感じに受け取られたので、どうしたらいいのかなと今考えているところです。

【委員長】 吉崎さんのご意見を受けて、これをこうしたらどうかという意見がありましたら追加で言っていただければと思います。櫻井さんお願いします。

【櫻井委員】 資料4だと26番、資料5だと25番の質問になるんですが、必要なカロリーが摂れていると思いますかという質問ですが、親が聞かれてもお弁当が何キロカロリーか答えられないと思うので、生徒が答えられるかなと思います。

【委員長】 答えられないんじゃないかということですね。

【櫻井委員】 そう思います。この質問はなくてもいいんじゃないかと思います。

【太田委員】 櫻井さんと重複するんですけども、お弁当以外の内容の件ですが、問23までの設問に対しての中でのカロリーを摂っているかどうかという設問は、逆に摂り過ぎている子がいるような気もするので、この設問は聞き方を変える必要があるのかと。給食以外のことで聞くみたいに、中学生全般の1日の摂取カロリーはいくらかといった具体的なものがないとこのアンケートは答えづらいのではないかと思います。学校の給食について摂取カロリーが摂れているかについては、全部完食しているかどうかになってくると思うので、それは問題ないと思いますが、ちょっとぼやっとした部分をどうしていくのか、この設問自体を消してしまうのか、又は内容を変えるのか検討していただければよいと思います。

【北崎委員】 まず、デリバリー給食の感想についてですが、私は子どもが関中に通っていますので、初めての経験で子どもを通して全く知らない状況でしたが、温かいということでおいしく感じましたし、私自身は子どもたちの量を満たしていると思いましたし、栄養バランスも考えられていると感じました。生徒の教室に入りますと、多くの子が家庭からの弁当で、数名の生徒としか話はできなかったんですけど、どうしてデリバリー食べないのと聞くと、お母さんの方が味がおいしいからという答えと、デリバリーだと嫌いなものが入っているからと、お母さんのお弁当だと配慮されたお弁当だからという

返答でした。食事が偏ってしまうのではないのかなと懸念されたので、デリバリーがどうしてもっと普及されていくのかとうことは考えていかなければならないことだと思います。

アンケートはみなさんがおっしゃってみえるように、給食を中心とした食生活や子どもたちの食生活について、子どもたちが自分の食についてどう考えているのかというのが広く拾えるのかなと期待しています。ただ、この設問で子どもたちがどこまで理解できるかなというところが2、3点ありまして、食事全般について好き嫌いをなくすことは大切であると思いますかという設問が5、6にあるのですが、食事全般という表現に生徒がどのように理解してどのように答えるのかなと気になりました。あと、問21なんですけれども、あなたは食に関わる人への感謝の気持ちを表していますかという設問なんですけど、作ってくれた親に対してなのか、給食センターの方なのか、デリバリーの方なのかなど、ポイントは色々あると思うので、答えをどう分析するかは難しいと思いました。例えば家族に絞るとか給食センターの方に絞るなど、もっと具体的に聞いた方が答えやすいのではないかと感じました。

【武居委員】

内容ではないところですが、1点目、このアンケートはそのままの文で生徒に渡すのだと思いますが、前段二文だけでは寂しいのではないのでしょうか。相手が生徒であれ、アンケートの目的はこんなことを検討していると示した方がよいのではと感じます。2点目ですが、大きな項目がⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴとあるのですが、見出しは給食なのか昼食なのかを分かりやすくした方がよいと思いますし、見た時にそのページで完結する分量の方が、生徒にとってはいいのではないのでしょうか。3点目ですが、Ⅳは「学校の昼食について」とあり、Ⅴは「給食の選択について」とありますが、Ⅴも昼食の選択についてではないでしょうか。細かいところですが、資料4の問7、8は子どもというより親への質問なのかと思います。既製品よりも手作り料理を意識してますかというのは、自分で作るのはいないので、子どもの意識と関係しているのかどうか微妙なかなと思いました。問9アレルギー表示を含む食の安全性ですが、安全性といってもたくさんあるので、アレルギー表示だけを強調したいのか、それとも食品添加物なども入ってくるのか疑問に思いましたので、安全性の具体的な内容が入っていた方がいいのではないかと感じました。問15、16は皆さんの言うとおりの、必要なカロリー、適切な栄養バランスというのが分かっているのかというところが微妙かと

思います。問19ですが、自分が考えていても難しいのですが、手作り料理とはどこからどこまでか、実際カット野菜も売っていますし、お父さんやお母さんの手がかかっていたらそうなのか、手作り料理といってもこの設問はいろいろ理解ができてしまうと思います。問20ですが、食品成分ならまだしも、産地についてはどうでしょうか。カロリーとか中学生が分かるのかと思いました。問30ですが、学校で食べる昼食には子どもの考えが反映できるシステムがそんなにはないのではないかという気がしました。同じような意味で、問33、34手作り料理という部分ですが、お弁当を持ってくる人に限ると口頭で説明がありましたが、それなら問33、34の前にお弁当を持ってきている人に聞きますといった一言があった方がいいのではないのでしょうか。多くなりましたが以上です。

【委員長】

はい、ありがとうございます。では東委員お願いします。

【東委員】

資料4の問2ですが、先日亀中のデリバリーを見て、お弁当でもデリバリーでもない生徒も何人かいて、その子たちは無回答でいいのか、菓子パンやコンビニ弁当の子もいて、その子たちにとって自分は当てはまらないと感じたら、他の問いも答えたくなくなるのではないかと思いました。個人的には食生活も実生活も興味がありますが、生徒にとっては質問が多いと感じるのではないのでしょうか。見出しを大きくすれば変わるのかもしれませんが、同じような質問もあり、さっきも答えたのにと混乱することもあるのかなと思います。でも、給食を食べている関中の生徒と亀中や中部中のデリバリーを食べている生徒が、その違いでも食生活の意識の違いが現れてくるのかなということは知りたいです。

というのも、関中生徒の話ですが、食育を受けたことで、家で食べる料理もこれは塩分が濃いか、食品成分表示を見てこれはナトリウムが多いとかを気をつけているそうなんです。そこまで関中で食育をしていただいている中で、それとリンクするような給食を提供していただいているので、意識が高いのかなと思います。それに対して亀中や中部中の生徒はどんな意識なんだろうと、自分はどうも知りたいです。ただ、あまりにも質問が多すぎて、今回は学校の昼食についてだけ質問するとか絞ってみてはどうかと思いました。中3で受験で追い込まれている子たちが、これだけの質問が来て、子どもたちは冷静に答えられるのかどうかと思いました。もうひとつ、デリバリーを説明する写真ですが、関中の子はいいなと思うの

ではないでしょうか。特に、関中の子は小学校からずっと同じ給食で、デリバリーは品数としては給食に比べてずいぶん多いですし、しかも生徒が好むようなスパゲッティやゼリーまでついて、すごく豪華にみえて給食より良いと思うのではないかと感じます。何か意図がありますか。

【事務局】                   これが標準の献立です。全く意図はありません。

【委員長】                   意図はないということですね。

【東委員】                   分かりました。ありがとうございました。

【上田委員】               私も東先生と同じ意見で、設問がすごく多いと思いました。ですが、事務局から説明いただいたように、幅広く子どもたちの食に対する意識を確認するのであれば、これだけあればいい資料になるのではないかとも思いました。食教育している私が言うのも言い辛いところですが、旬の食材・地元の食材と聞かれても知らない子は知らないと思うんです。調理に関わっていなかったり、家でそのような機会が設けられていなかったりする子では答えづらい質問なのではないかと思いました。手作りに関しても家庭の状況によって答えづらい質問であるかと思うので、今回に関しては議題でもあったようにデリバリーの今後の方針についてということですので、それに絞ったアンケートにしてはどうかと感じました。あとは、ほとんどみなさんの意見と同じです。

【玉村委員】               私も、みなさんが言われたようなことと同じです。アンケートについては、生徒に負担にならないようもう少し簡潔にさせていただいて、確かに食に関する意識というのは知りたいところもありますが、学校の食事のことにに関しての部分だけでいいのではないかと感じました。生徒の意識を幅広く知ろうと思うと難しいことになると思いますので、精査していただく必要があるのではないかと思います。

【伊藤委員】               アスレは、保育園も幼稚園も同じ給食です。センター方式の資料を見ましたが、IVの学校での昼食についてという文言ですが、昼食を給食に変えて、IVとVを合わせてもいいのではないかとも思います。関では学校で食べる給食となると、子どもたちにも親近感があ

って考えやすいのではないかと思います。27番の地元産ですけど、業者の方が毎月この食材はどこ産と明記してきてもらっています。園児たちにも、卵は亀山、竹の子は桑名、豆腐は津、竹輪は四日市と地元産のものについては分かりやすく説明しています。関中でも食育への関心が高いようですので、こういう点やカロリーについては差があるかもしれませんが、大体の生徒はわかるのではないかと思います。あとVの4番の小学校のような給食というのが、小学校と中学校との差というのがわからなかったのですが、ただ、給食についてこのままでいいのではないかという文言というのも入れていただいた方がよいかと思います。給食に満足している生徒も多いのではないかと思います。

**【委員長】** はい、ありがとうございます。野呂先生お願いします。

**【野呂委員】** だいたい皆さんと重複しますが、やはり質問が多いですね。こういうアンケートになるとどうなると思いますか。すべて同じ項目に回答するなど、全員ではないが、適当に答える子が増えるのではないかと思います。ですので、学校の昼食に絞った方がいいのではないかと思います。また、武居先生の言われたように、既製品と手作りはどこで分けるのかについては難しいと思います。それから、旬の食材は分かりますが、地元産の食材はどこまでを言いますか。亀山産ですか。三重県産ですか。そういうことを意識しているのかなど。弁当であれば、地元がどこかなんて分かるのかどうかと思います。お母さんがこれは自分とこの畑で取れたんやにと言えれば分かりますがけれども、地元産の食材が摂れているかどうか答えるのは難しいと思いました。それから、給食の選択肢として3つまでという形になったときに、どうとらえていくのかということを感じました。しかし、一つ選ぶということになると、給食の選択の一番最後ですが、AメニューかBメニューかを選べるデリバリー給食とはっきり書いた方が分かりやすいのではないかと思います。

**【遠藤委員】** 皆さんが言っていたことに加えて、2つ意見を言わせてください。1つ目は、関中用のアンケートのIVについては、学校での昼食についてという点で、関中では学校給食をしているので、子どもたちにとっては学校での給食についての方が分かりやすい問い方だと思います。それに関連してVの給食の選択についてですが、「小学校のような」給食という表現は、関中は今学校で給食を食べてい

るわけですから、小学校のような」と書かなくてもいいのではと思  
いました。2つ目は、亀中・中部中用の資料4ですが、そのIV、昼  
食についてという設問33、34番については、お弁当の子に限っ  
てという話の中で、24番からの設問についてはお弁当について答  
えているのか、デリバリーについて答えているのかというあたりを  
はっきりした方がいいと思います。答えるところを明確にすれば、  
集約する側も含めてやりやすいのではないかと思います。問2に戻  
りますとその子がお弁当なのかデリバリーなのかはわかりますが、  
答えていくにあたって自分の弁当について答えているのか、デリバ  
リーについて答えているのかというのがはっきりとした方が生徒は  
答えやすい気がしました。

【副委員長】

いろいろな意見ありがとうございます。私なりにまとめてみます  
と、この機会にいろいろなことを知っておきたいということも分か  
りますが、質問の簡素化ということで、15問くらいの1枚ものに  
した方が中学生にとっては答えやすいのではないのでしょうか。学校  
での昼食という問題でとらえた方がよいと思います。それから、今、  
家庭での食がすごくよくなっているし、私たち三重県人はチェーン  
店の味が好きな県民だと感じています。ファーストフードやカップ  
麺、カレーライスなどの味であれば、子どもたちの口に合うとい  
うようになっていると思うんですね。ですので、われわれの幼稚園  
でもアンケートを取ると味が薄いという意見がたくさん出てきます。

でも、管理栄養士はこの味で行きたいと、手作りでやろうとして  
おるんですが、なかにはアンケートで最近既製品をたくさん使っ  
ているのではないかという意見もあり、手作りとい既製品の味の差がわ  
かならいということもあります。今の時代は、本当にいろいろあり  
ますから、子どもたちの負担にならない程度に、分かりやすくまと  
めていただいて、意見もたくさん出ましたから、今回は昼食のと  
ころに絞って考えられたらどうかと思います。

【委員長】

ありがとうございました。それでは、みなさんの意見をまとめて  
いきたいと思います。資料4をご覧ください。まずは設問の数が多  
いということで、できれば少し減らしたいということがございます。

そこで、今回については、学校の昼食について、それから昼食の  
選択について、というところに重点を絞って質問を行うという意見  
が多かったのですが、それでよろしいでしょうか。せっかくです  
から意識調査をしたいと事務局は思っていると思われませんが、受験生

が対象となっていることなどもありますし、今回は昼食のみがアンケートとなっているということでよろしいでしょうか。

また、アンケートを実施するにあたっての最初の文ですが、武居先生より目的についても書いた方がいいと意見もありましたので、これは入れていただきますか。

【事務局】

案として事務局は作成したのであって、アンケート内容は委員の皆さんで決めていただきたいと思います。ただ、協議のなかで意見のあったデリバリーをどうするかということをも目的にするものではないように思います。この委員会の設置要綱にもありますが、中学校における学校給食のあり方について検討するとなっておりますので、デリバリーが良いか悪いかを調査するものではないと思います。

【委員長】

タイトルに中学生の食生活と給食についてのアンケートとありますので、それを目的に入れていただいて中学生の昼食の在り方について考えますというようなことを入れていただければと思います。それからⅠの問2についてですが、東先生からお弁当でもデリでもないというお子さんがいたということですので、どういう問い方が良いでしょうか。

【太田委員】

その他はどうでしょう。

【武居委員】

具体的に書きすぎてもいけないと思いますので。

【委員長】

そうですね、その他ぐらいにしておきましょうか。それからⅡとⅢについては、削除ということでもよろしいでしょうか。

では、Ⅳの学校の給食について、中学生がお弁当について答えているのか、デリバリーについて答えているのか明記する、もしくはコースを作った方が良いのではないかという意見がありましたが、最初にⅠの後ろにこの学校の昼食についてという設問がきますので、自分が何について答えているかは明確になりやすいかと思いますが、このあたりは最初に何について答えるのかということをも明記した方がやはりいいでしょうか。

【野呂委員】

主に自分が利用しているものについて答えてくださいという形にしてはいかがでしょうか。

- 【委員長】 昼食についてということをお記しておけば分かりやすいですかね。
- 【副委員長】 集計しやすいように再考した方が良くないでしょうか。事務局におまかせするという事です。
- 【委員長】 対応させるんですよ。デリの子、お弁当の子はこう答えているというような形になると思いますが、どうでしょうか。
- 【事務局】 私どもは、意識レベルからとるのかなど、できるだけ多くたたき台を作っただけで、何一つこだわりはありません。だから、すべて一言一句までこの検討委員会で決めていただきたいという気持ちでいっぱいです。
- 【委員長】 分かりました。問2は学校で食べる昼食は何ですかという質問ですね。どちらかというとお弁当かデリバリーかある程度分かれると思います。それについて学校の昼食について、あなたが主にとっての昼食について答えてくださいという形の文言を加えてください。問26ですが、学校で食べる昼食について必要なカロリーは摂れていますかという質問について、これがあるかなという意見がありました。これについてはいかがでしょうか。
- 【事務局】 最初に藤尾委員が言われた、量や味、内容を問うものを入れるのであれば、新しい質問を入れることも構いませんが、過去に数回給食に関するアンケートは取っております。今回提案しているアンケートについては、項目もまるっきり白紙から作っています。弁当か給食かを問うアンケートについては、インターネットで検索するといっぱい出てきます。そのような問い方をすると、大体子どもたちは弁当が良いと挙げてきます。遠足の弁当、運動会の弁当おいしいですもんね。だけど亀山は、かつて2、3年前にアンケートで聞いたところ、関中は給食が良いと、亀中・中部中はデリバリーと弁当の方式が良いと数値的には一番高く出ております。だから、良く似た質問をまた取るとあまり結果が変わらないことが想定できます。今後、この会議で検討していくうえで、何を大事にすれば良いのかということは共通理解を図らないと、即質問項目がリンクしていくと思うんです、それによって。だからそのあたりが非常に難しいと思います。過去の直近のアンケート結果については、ホームページにも掲載されていますが、委員の皆さんに提供することはできます。

例えば、中学校給食について、味や量など男女別に各中学校聞いております。ストレートに給食のあり方についても聞いています。保護者は、給食を望むという結果もわかっています。これらの結果も必要であれば出しますが、その上で子どもたちを中心にした基本データが欲しいなど、何の部分がほしいのかということを通理解を図っていただければ、あとは事務局にお任せということであれば質問は組みやすいんです。今回はアバウトかつ一部具体的で広範囲な質問になりましたが、この案作りには非常に頭を悩ませました。だけど、このような意見はでるだろうなと想定済みの意見はありました。何が必要なのかという共通理解があった方がこのアンケートが深まるのではないのでしょうか。

**【副委員長】** 過去に数回アンケートを取っていることは知りませんでした。それは各担任が朝のホームルームで15分程度で行ったものか、家庭へ持ち帰ってやったものか、どちらでしょうか。これからアンケートをするのに各担任も意識を持ってもらうために、ホームルームで時間をとってもらう方向で考えるべきかと思います。

**【事務局】** 生徒は基本学校でとっているかと思いますが、保護者は持ち帰りで行っています。

**【副委員長】** 学校でやる場合、授業の一環など先生も意識しながら行うことができているかどうかということです。今は先生がめんどうくさいことは意識しない風潮があるような感じがします。頑張ってはみえるんですけどもね。やはり学校でしていただいた方が、生徒の感覚的なものが出ますので、良い結果が得られるのではないかと思います。

**【野呂委員】** どんなアンケートも家の人と行う必要がない場合は、学校で行っています。その方が回収率も落ちませんしね。

**【委員長】** これまでのアンケートには、今回のような質問項目も入っているのですか。

**【事務局】** 入っていません。

**【委員長】** では、前回の資料と今回のアンケートを合わせた分析結果という

のは見せていただけるのですね。

【事務局】 分かりました。

【委員長】 何を目的にアンケートを取るかということを考えると、かなりの時間がかかりますし、デリバリーの会議は今回が初めてですので難しいと思います。ですから、アンケートの実施は来年度に行うものとし、少し時間を置いてから行うか、既にアンケートを行っているともありますので、ⅣとⅤだけを調査する簡易なものにする、または今回は止めるというのがありますが、いかがでしょうか。

【武居委員】 先ほど事務局からの話であった中学校給食に関するアンケートは、平成24年度に行われた中学校1年生の保護者対象にしたものだと思いますので、中学校給食の方向性はある程度今年とったとしてもあまり大差ないものになることが考えられますので、アンケートするならば、意識の部分は前回とっていないので、そういうところだけにするかどうかは今日は結論が出ないと思いますし、前回の平成24年度の調査結果を見たらうえて検討するべきかと思いますがいかがでしょうか。

【委員長】 武居委員より前回の調査を見たらうえて、必要であれば追加のアンケートを取るという意見がでましたがいかかでしょうか。

【副委員長】 そうしとると、どんどん色々なことが延びていってしまうのではないのでしょうか。すでにアンケート結果をもってみえるんだから、今の3年生が大事やと思いますので、今の間に意見を集約して15項目ぐらい今やりたいアンケートをやってしまう。事務局におまかせして、項目をセレクトしていただいたアンケートを実施して、次の段階に持っていくというのはどうですか。これは意見です。

【武居委員】 私は、アンケート調査の詳細は覚えていないですが結果は把握しているつもりでの発言なんですが、方向性や子どもの思いは、前回のアンケートを見ればある程度分かるようなものだったと記憶しています。事務局から資料を用意していただいた方がいいのかとも思いました。

【事務局】 どちらでもいいのですが、同じような質問は避けた方がいいと思

います。同じような質問は避け、今日のご意見のもと必要と思うものを改めて作ってみますので、委員長、副委員長に見ていただくということではいかがでしょうか。

【委員長】 それで一任いただけるということであれば、今日いただいた意見はすべてメモしてありますので、みなさんからいただいたご意見に沿った内容のアンケートかどうかを委員長、副委員長で確認させていただいて、今年度中に実施するという方向でよろしいでしょうか。

なるべく生徒の負担のないように、見やすいようにということで検討させていただきますので、一任いただくということではよろしいでしょうか。

【副委員長】 中学校もそれでよろしいですか。

【野呂委員】 はい。できるだけアンケート項目は少なくお願いします。

【事務局】 集計はすべて事務局で行います。

【委員長】 では、よろしいですね。たくさんのご意見をいただきましたので、副委員長、事務局と相談をしながら本日のご意見を集約し、アンケート内容を完成させたいと思います。それで、2、3月中にアンケートを実施していただくようお願いしたいと思います。

次に、その他の項で事務局よりお願いします。

【事務局】 2月13日金曜日に事務局とともに検討委員会の委員さん1名か2名静岡市へ視察に行っていたらと思います。もしご都合のつく方が見えましたら事務局に報告をいただけたらと思います。静岡市は合併前の方式を引き継いでまして、センター、単独、親子、デリバリーと全ての方式を行っている市であります。すでに市の方針はでておるんですが、なかなかその方針通りにいかないようで協議をされています。希望の方が見えたら事務局まで報告をお願いします。

【委員長】 それではこれで本日の議事は終了いたしました。次回は来年度になります。内容としましては、今回のアンケート調査の結果の検証などとなりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、これもちまして第4回学校給食検討委員会を終了い

たします。最後に事務局お願いします。

**【教育次長】**

本日もたくさんご意見を出していただきまして有難うございました。早々にアンケートを作りまして、結果を出したいと思っております。

次回は、5月頃を開催予定としておりますのでご理解よろしくお願ひ申し上げます。

それでは本日は有難うございました。お気をつけてお帰りください。

—了—